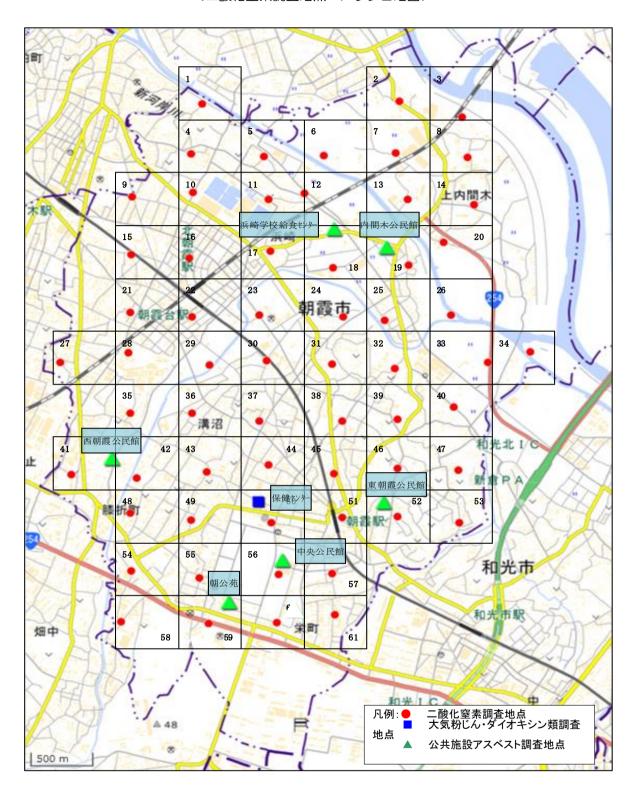
# 第2章

資 料 編

# 1 大気関係

調査地点番号	R3.7.9	R4.1.14	年度平均
4	~7.16 0.007	~1,21 0,013	(令和3年度)
1 2	0.007	0.013	0.010 0.023
3	0.006	0.023	0.023
4	0,008	0.013	0.011
5	0,008	0,013	0.011
<u>6</u>	0.007	0.010	0.009
	0.019	0.019	0.019
<u>8</u> 9	0,008	0.014 0.012	<u>0,011</u> 0.010
10	0.012	0.012	0.015
11	0.009	0.015	0.012
12	0.007	0.014	0.011
13	0.010	0.016	0.013
14	0.008	0.013	0.011
15 16	0,009	0.014 0.017	0.012 0.014
17	0.010	0.016	0.014
18	0.011	0.014	0.013
19	0.009	0.016	0.013
20 21	0.013	0.020	0.017
<u>21</u>	0.009	0.015	0.012
22 23	0.009	0.013 0.016	<u>0.011</u> 0.014
<u>23</u> 24	0.011	0.016	<u>0,014</u> 0,011
25	0.010	0.015	0,013
26	0.007	0.014	0.011
27	0.008	0.013	0.011
28	0.009	0.016	0.013
29 30	0,007 0.010	0.014 0.016	<u>0,011</u> 0,013
<u>30</u> 31	0.009	0.015	0.013
32	0.003	0.017	0.012
33	0.009	0.018	0.014
34	0,012	0.023	0.018
35	0.011	0.023	0.017
<u>36</u> 37	0.009	0.017 0.018	0.013 0.014
<u>37</u> 38	0.010 0.010	0.018	0.014
<u>39</u>	0.009	0.016	0.013
40	0.014	0.020	0.017
41	0,008	0.018	0,013
42	0.009	0.020	0.015
43 44	0.009	0.019 0.019	0.014 0.015
45 45	0.010	0.019	0,013
<del>4</del> 5 46	0.010	0.017	0.014
47	0.010	0.018	0.014
48	0.009	0.022	0,016
49	0.009	0.023	0.016
50 51	0.008	0.018	0.013
51 52	0.012 0.009	0.021 0.018	0.017 0.014
53	0.009	0.018	0.014
54	0,009	0.026	0.018
55	0,009	0.021	0.015
<u>56</u>	0.008	0.019	0.014
<u>57</u>	0.008	0.018	0.013
<u>58</u> 59	0.010 0.014	0.025 0.034	0.018 0.024
<u>59</u> 60	0,014	0,034	0,024
61	0.008	0.023	0.013
•			
平均值	0.010	0.018	0.014
最高値	0.023	0.034	0,024
<u>最低値</u> 環境基準	0.006 1時間値の1日平均値が0.04た	0.010 0.010	0.009 内又はそれ以下である。
<b>以</b> 切坐午		<u> </u>	
0.06超 数	夏 0	<u> </u>	<u>年平均</u> O
<u>0.00</u> 超 数	0.0%	0.0%	0.0%
0.04~0.06	0.0%	0.078	0.0%
割合	0.0%	0.0%	0.0%
레 ㅁ	0.076	0.070	0.070

### <二酸化窒素調査地点 メッシュ地図>



# 二酸化窒素調查地点 周辺概要

調査地点 番号	用途地域	周 辺 概 要
1	第一種低層住居専用地域	新河岸川沿いで田畑が広がり、民家は少ない。
2	市街化調整区域	住居と工場が混在している地域で、発生源が近い。
3	市街化調整区域	荒川の土手沿いで、住宅及び倉庫等が点在している。
4	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地で、北側にテニスコートがある。
5	第一種低層住居専用地域	周辺は住宅地と畑で、南側に朝霞浄水場がある。
6	市街化調整区域	新河岸川沿いで、骨材乾燥炉を含む資材置き場が点在。
7	市街化調整区域	畑や駐車場が広がり、小さな工場が並んでいる。
8	市街化調整区域	周辺は住宅地で、その周囲に田畑がある。
9	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集した住宅地で、北西側にグランドがある。
10	第一種中高層住居専用地域	住宅地及び小さな工場と浄水場に囲まれて畑がある。
11	第一種中高層住居専用地域	周辺は畑に面した住宅地で、南西側に浄水場がある。
12	市街化調整区域	JR武蔵野線脇に広がる畑地の中。
13	市街化調整区域	朝霞市クリーンセンターに面した道路沿いで、周囲は空き地。
14	市街化調整区域	交通量の多い道路が近い住工混在で、畑も広がっている。
15	第一種住居地域	東武東上線に面した住宅地で、北側は林となっている。
16	近隣商業地域	住宅と畑が混在しており、北朝霞駅が近い。
17	第一種住居地域	周辺は住宅地で、近くに県道がある。
18	市街化調整区域	周辺は、畑が広がっている。
19	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地で、近くに県道がある。
20	市街化調整区域	周辺は住宅地が点在し、空き地が多い地域。
21	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集した住宅地であるが、倉庫や工場も近接。
22	第一種中高層住居専用地域	西久保公園内であり、周辺は住宅地である。
23	市街化調整区域	東側に東洋大学、西側に畑や事業所が点在している。
24	第一種低層住居専用地域	畑に囲まれた小規模な住宅地。
25	第一種中高層住居専用地域	住宅地であるが交通量の多い県道がすぐ東側を通る。
26	市街化調整区域	周辺は水道局用地があり、新河岸川と黒目川合流する。
27	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地と畑等で、物流倉庫等が点在する。
28	第一種住居地域	北側が第五小学校、南側が本田技術研究所の敷地である。
29	市街化調整区域	周辺は主に畑等であり、黒目川沿いに位置する。
30	第一種住居地域	住宅地の周囲が畑で、北側に東武東上線と東洋大学がある。

調査地点番号	用途地域	周 辺 概 要
31	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地となっている。
32	第一種中高層住居専用地域	高台の住宅地脇で、南北に畑が広がっている。
33	市街化調整区域	第九小学校の境界部で周囲はほとんど畑となっている。
34	市街化調整区域	畑地として利用されている川に挟まれた土地。
35	準工業地域	周辺に工場が点在するが、特に大きな発生源はない。
36	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅と畑が広がっている。
37	第一種住居地域	周辺は住宅地であるが、交通量の多い道路に近接する。
38	第一種中高層住居専用地域	周辺は主に住宅地となっている。
39	第一種中高層住居専用地域	児童遊園地内で、北が畑で南が住宅地に挟まれた地域。
40	市街化調整区域	周辺は、雑木林の高台と畑に面した開けた地域。
41	工業地域	周辺は畑や倉庫が主で、大きな工場は少し離れている。
42	第一種住居地域	周辺は住宅地で、北側に第一小学校がある。
43	第一種中高層住居専用地域	周辺は住宅地で、西側にゴルフ練習場がある。
44	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集した住宅地。
45	第一種住居地域	周辺は密集した住宅地で、県道と東武東上線が近い。
46	第一種低層住居専用地域	周辺は住宅地と畑が混在している。
47	第一種低層住居専用地域	周辺は西が住宅地、東が畑となっている。
48	工業地域	周辺は、住居と倉庫等が混在している。
49	第一種中高層住居専用地域	周辺は比較的密集した住宅地で、東に県道が通っている。
50	近隣商業地域	市役所の敷地内で、商店街や公共施設がある中心街。
51	第一種住居地域	朝霞駅に近い東側で、周辺は駅前商店街になっている。
52	第一種低層住居専用地域	住宅地と畑の混在する地域。
53	第一種低層住居専用地域	周辺は密集する住宅地。
54	第一種住居地域	周辺は密集する住宅地で、県道と国道254号に挟まれる。
55	第一種中高層住居専用地域	周辺は密集する住宅地。
56	市街化調整区域	朝霞中央公園内に位置する。
57	第一種中高層住居専用地域	南側は住宅と印刷工場、北側は畑が広がる。
58	工業地域	周辺は住宅地と小さな工場及び畑が混在している。
59	準住居地域	平成29年2月調査までは、国道254号沿道の朝霞幸町 自排局に設置していたが、平成30年5月に自排局が廃止 されたため、平成30年7月調査以降は国道254号を挟 んだ向かいの上の原公園のフェンスに設置。
60	市街化調整区域	南が住宅地、北が第四中学校と市営球場になっている。
61	準工業地域	周辺は住宅地となっている。

令和4年3月30日現在

(2) 大気粉じん調査結果 実施日 (夏季) 7月13日~14日 (冬期) 1月18日~19日

項目	調査地点	単位	夏季	冬季	平均	基準値
浮遊粉じん量		μg/m <sup>3</sup>	25	18	22	_
亜鉛		ng/m³	85	160	120	_
総クロム		ng/m <sup>3</sup>	1.3	3.	2.3	_
カドミウム	保健センター	ng/m³	0.33	0.10	0.22	_
鉛	休庭ピンター	ng/m³	8.2	28.0	18.0	_
ニッケル		ng/m³	2.8	1.5	2.2	25以下
バナジウム		ng/m³	0.86	1.4	1.1	_
アスベスト		f/Q	0.056未満	0.056	0.056	10以下

(3) 公共施設アスベスト調査結果 (無機質繊維濃度)

			12/			
調査地点	実施日	敷地境界東側	敷地境界西側	敷地境界南側	敷地境界北側	基準値
中央公民館	12月22日	0.056	0.056未満	0.056未満	0.056未満	
東朝霞公民館	12月22日	0.011	0.056未満	0.056未満	0.056未満	
西朝霞公民館	12月21日	0.056未満	0.056	0.056未満	0.056	10f/L以下
内間木公民館	12月21日	0.056	0.056未満	0.056未満	0.056未満	101/LW N
浜崎学校給食センター	12月20日	0.056未満	0.056未満	0.056未満	0.056未満	
朝光苑	12月20日	0.056未満	0.056未満	0.056未満	0.056未満	

(4) ダイオキシン類調査結果(大気)

<u> </u>	/ 炽则且心木(八刈)				
調査地点	実施日	夏季	冬季	年平均値	環境基準
保健センター	(夏季) 7月 9日 ~ 7月16日 (冬期) 1月14日 ~ 1月21日	0,016 pg-TEQ/m <sup>1</sup>	0.022 pg-TEQ/m <sup>1</sup>	O.O19 pg-TEQ/m	年平均値 O.6pg- TEQ/㎡ 以下

### (5) 常時監視測定結果(埼玉県実施調査)

大気汚染常時監視測定局 ※〇のついているものが、その測定局で測定している項目

測定局名	一般環境	一般環境大気測定局		ガス測定局
項目	和光	新座	朝霞幸町	和光新倉
二酸化硫黄	_	0		_
一酸化炭素	_	_	0	_
浮遊粒子状物質	0	0	0	0
光化学オキシダント	0	0	_	_
二酸化窒素	0	0	0	0
微小粒子状物質	0	0	0	0
風向・風速	0	0	0	0

令和3年度環境基準達成状況 ※Oは環境基準達成 ×は非達成 ーは未実施

	7. 保况坐于连州1	ハルし	ふしは採択生		<u> プルモル I</u>	タイズル アンド		
Î	三酸 二酸 1	化硫黄	一酸化	比炭素	浮遊粒-	子状物質	光化学オキシダント	二酸化窒素
測定局名	短期	長期	短期	長期	短期	長期	環境基準	環境基準
和光	<del>-</del>	_	_	_	0	0	×	0
新 座	0	0	_	_	0	0	×	0
朝霞幸町	T —	_	_	_	_	_	_	_
和光新倉	i –	_	_	_	0	0	_	0

	項目	微小粒子状物質					
測定局名	/	短期	長期				
和	光	0	0				
新	ଚ	0	0				
朝霞雪	雪	_					
和光彩	折倉	0	0				

酸化硫黄の年平均値の経年変化

二酸化硫黄の年平均値の約	<u>(</u>	単位:ppm)			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新 座	0.001	0,001	0.001	0.001	0.001

- 融化卒業の10平均値の20/ 除別値の終年亦化

(単位:nnm)

						<u>+111 · PPIII)</u>	
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
新	座	0.002	0.002	0.001	0.001	0.002	
(環境基準の評価)							

一酸化炭素の年平均値の経年変化

(単位:ppm)

	\-	<u> </u>			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
朝霞幸町	0.4	I	1	1	_
•			7.%	アポクク年度市	に測定民威止

※平成30年度中に測定局廃止

酸化炭素の1日平均値の2%除外値の経年変化

(<u>単位:ppm)</u> 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 | 令和3年度 朝霞幸町

(環境基準の評価)

※平成30年度中に測定局廃止

浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

(単位:mg/m)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
和光	0.018	0.020	0.017	0.017	0.015
新 座	0.018	0.018	0.016	0.015	0.014
朝霞幸町※	0.016			1	_
和光新倉	0.016	0.017	0.016	0.016	0.014

※平成30年度中に測定局廃止

浮游粒子状物質の1日平均値の2%除外値の経年変化

(単位:mg/m³)

万趣地子が物質の「日子の他のとうの物が」にの地子交行								
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
0.038	0.043	0.037	0.040	0.030				
0.037	0.039	0.036	0,036	0.028				
0.035		_	_	_				
0.037	0.037	0.038	0.040	0.029				
	0.038	0.038 0.043 0.037 0.039 0.035 —	0.038 0.043 0.037   0.037 0.039 0.036   0.035 - -	0.038 0.043 0.037 0.040   0.037 0.039 0.036 0.036   0.035 - - -				

(環境基準の評価)

※平成30年度中に測定局廃止

光化学オキシダントの昼間の1時間値が006ppmを超えた時間数の経年変化

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
和 光	430	456	391	347	350					
新 座	364	395	318	287	315					

二酸化窒素の年平均値の経年変化

(単位:ppm)

<u>— IX 10 ± 71 0 1 1 75 1E 05 1E</u>	(-	$+177 \cdot DD1117$			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
和 光	0.019	0.016	0.015	0.014	0.014
新 座	0.017	0.015	0.014	0.013	0.012
朝霞幸町※	0.027	I		1	_
和光新倉	0.019	0.017	0.018	0.017	0.016
•			\•/ T	に伴りりた時も	

※平成30年度中に測定局廃止

一酸化窒素の1月平均値の年間98%値の経年変化

(単位:ppm)

— 欧 lo 主 / (0)   l l l l l l l l l l l l l l l l l l	(-	+ 111 · DDI II)			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
和 光	0.038	0.039	0.032	0.032	0.030
新 座	0.037	0.036	0.030	0.031	0.027
朝霞幸町※	0.046	I		1	_
和光新倉	0.034	0.035	0.032	0.033	0.031

(環境基準の評価) ※平成30年度中に測定局廃止

微川粒子状物質の年平均値の経年変化

(単位: μg/㎡)

「大切」が、「大切」の「大力」を表している。										
	平成29年度 平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度					
和 光	12.9	13.2	11.2	10.8	9.6					
新座	(14.6)	13.0	11.0	11.0	9.1					
朝霞幸町※	(13.5)	(14.5)	l	1	1					
和光新倉	(13,7)	12,2	10.7	10.7	9.4					

( )は、有効測定日数が250日に満たないため、環境基準の評価の対象としない。 (環境基準の評価) ※平成30年度中に測定局

常小粒子は物質の1.0平均位の年間0.00/位のタケボル

( ) Y I .

<u> </u>	(里	<u>1□ : μg/m/)</u>			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
和光	29.0	29.9	23.7	26.4	20.3
新 座	(35.0)	29.6	22.6	27.5	18.0
朝霞幸町※	(33.8)	(30,9)		ı	1
和光新倉	(35,2)	27.7	22.1	28.1	19,2

( )は、有効測定日数が250日に満たないため、環境基準の評価の対象としない。 (環境基準の評価) ※平成30年度中に測定局

### 大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること。
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
浮遊粒子状物質	1 時間値の1 日平均値が0.1 mg/m³以下であり、かつ1 時間値が0.2 mg/m³以下であること。
光化学オキシダント	1 時間値が0.06ppm以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0,04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
微小粒子状物質	1年平均値が15 $\mu$ g $/$ ㎡以下であり、かつ1日平均値が35 $\mu$ g $/$ ㎡以下であること。

### 環境基準による大気汚染の評価

### (1) 短期的評価 (昭和48年 6月12日環大企第143号より抜粋)

二酸化硫黄等の大気汚染の状態を環境基準にてらして短期的に評価する場合は、連続してまたは随時に行った測定結果により、測定を行った日または時間についてその評価を行う。この場合、地域の汚染の実情、濃度レベルの時間的変動等にてらし、異常と思われる測定値が得られた際においては、測定器の維持管理状況、気象条件、発生源の状況等について慎重に検討を加え、当該測定値が測定器に起因する場合等、地域の大気汚染の状況を正しく反映していないと認められる場合には、当然評価対象としない。なお、1日平均値の評価にあたっては、1時間値の欠測(上記の評価対象としない測定値を含む。)が1日(24時間)のうち4時間を超える場合には、評価対象としない。

### (2)長期的評価 (昭和48年 6月12日環大企第143号より抜粋)

本環境基準による評価は、当該地域の大気汚染に対する施策の効果等を適確に判断するうえからは、年間にわたる測定結果を長期的に観察したうえで評価を行うことが必要であるが、現在の測定体制においては測定精度に限界があること、測定時間、日における特殊事情が直接反映されること等から、次の方法により長期的評価を実施する。1日平均値である測定値〔(1)の評価対象としない測定値を除く。〕につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるもの(365日分の測定値がある場合は7日分の測定値)を除外して評価を行う。ただし、1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合には、このような取扱いは行わない。

### (3) 98パーセント値評価 (昭和53年 7月17日環大企第262号より抜粋)

二酸化窒素の環境基準による大気汚染の評価については、測定局ごとに行うものとし、年間における二酸化窒素の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの(以下「1日平均値の年間98%値」という。)が0.06ppm以下の場合は環境基準が達成され、0.06ppmを超える場合は達成されていないものと評価する。なお、1時間値の欠測が4時間を超える測定日の1日平均値は用いない。また、年間における測定時間が6,000時間に満たない測定局については、評価の対象としない。

※二酸化窒素濃度が経年的に高い地点は、自動車等の交通量の多い国道254号線などの道路沿線であり、交通渋滞のほか、右折や信号待ちしている車両からの排出ガスの影響を受けていることが考えられます。本市では、主要道路で交通量調査を実施する一方、「広報あさか」を通じて、自動車利用の自粛や自転車及び公共交通機関の利用促進、低公害車への買い替え、エコドライブなどの協力を市民や事業者に呼びかけています。

### 2 水質関係

### (1) 河川水質調査結果【生活環境項目調査地点】 (調査地点はP.81参照)

	項目	単位	A地点	新河岸川上流	(新宮戸橋付近)	<c類型></c類型>	平均値
	採水年月日	-	R03.06.25	R03.08.24	R03.12.07	R04.02.03	_
	天 候	-	曇	丢	丟	晴	_
	気 温	°C	22.0	30.3	15.8	8.4	_
	水温	℃	22.2	24.0	15.8	13.7	_
	透視度	cm	39.8	61.8	100以上	100以上	75.4
	流量	m <sup>3</sup> /s	16.8	16.5	11.9	10.3	13.9
生	Hq	-	7.3	7.2	7.1	7.1	7.2
活	DO	mg/況	6.6	6.8	7.2	9.2	7.5
環	BOD	mg/%	2.2	0.8	2.0	1.8	1.7
	SS	mg/汎	16	11	2	3	8
境	亜 鉛	mg/¼	0.024	0.008	0.013	0.017	0.016
項	ノニルフェノール	mg/況	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
B	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/¼	0.0037	0.0019	0.0056	0.0028	0.0035
ВОІ	O 負荷量	g/s	36.96	13.20	23.80	18.54	23.13
項一	大腸菌群数	MPN/100ml	240000	330000	700000	49000	330000
目般	大腸菌数	MPN/100ml	5700	6000	1000	830	3400

_		1 1					
	項 目	単位	C地点	1 黒目川上流	(大橋付近) <	C類型>	平均値
	採水年月日	-	R03.06.25	R03.08.24	R03.12.07	R04.02.03	_
	天 候	-	曇	丟	丟	晴	_
	気 温	℃	26.4	32.3	17.2	5.3	_
	水 温	°C	23.4	22.0	15.7	10.5	_
	透視度	cm	74.3	100 以上	100 以上	100 以上	93.6
	流 量	m <sup>3</sup> /s	0.550	2.67	1.90	0.518	1.41
生	На	-	8.4	8.4	7.8	8.2	8.2
活	DO	mg/¦%	9.3	9.6	10.0	13.0	10.5
環	BOD	mg/채	1.1	0.5	0.5 未満	0.8	0.7
	SS	mg/¦%	5	2	2	1	3
境	亜 鉛	mg/채	0.011	0.015	0.005	0.003	0.009
項	ノニルフェノール	mg/¦%	0.0006未満	0.0006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.0006未満
B	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/채	0.0036	0.0016	0.0020	0.0013	0.0021
ВОІ	D 負荷量	g/s	0.61	1.34	0.95	0.41	0.83
項一	大腸菌群数	MPN/100ml	49000	7800	17000	13000	22000
目般	大腸菌数	MPN/100ml	970	600	430	460	620

	項 目	単位	D地点	黒目川中流	(東林橋付近) <	(C類型>	平均値
	採水年月日	_	R03.06.25	R03.08.24	R03.12.07	R04.02.03	_
	天 候	_	曇	曇	曇	晴	_
	気 温	℃	26.2	31.3	16.0	7.2	_
	水温	°C	24.4	22.7	15.6	11.5	_
	透視度	cm	55.3	100 以上	100 以上	100 以上	88.8
	流 量	m <sup>3</sup> /s	0.769	1.24	1.80	0.885	1.17
生	На	_	8.6	8.4	7.7	8.1	8.2
活	DO	mg/兆	9.8	9.8	10.0	14.0	10.9
環	BOD	mg/¦%	1.4	0.6	0.5 未満	1.1	0.9
	SS	mg/%	7	3	1	3	4
境	亜 鉛	mg/¦%	0.019	0.007	0.005	0.003	0.009
項	ノニルフェノール	mg/兆	0.00006未満	0.00006未満	0.0006未満	0.00006未満	0.00006未満
B	直鎖別片ルベンゼンスルホン酸塩	mg/兆	0.0040	0.0019	0.0033	0.0025	0.0029
ВО	)負荷量	g/s	1.08	0.74	0.90	0.97	0.92
項一	大腸菌群数	MPN/100ml	28000	23000	14000	3300	17000
目般	大腸菌数	MPN/100ml	4300	1200	2300	1500	2300

	項 目	単位	F地点	越戸川上流(	(越戸橋付近) <	指定なし>	平均値
	採水年月日	_	R03.06.25	R03.08.24	R03.12.07	R04.02.03	_
	天 候	_	曇	丟	曇	晴	_
	気 温	℃	26.0	30.6	16.0	4.5	_
	水 温	$^{\circ}$	22.8	21.0	16.5	13.9	_
	透視度	cm	25.3	100 以上	100 以上	100 以上	81.3
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.191	0.257	0.111	0.078	0.159
生	Hq	-	7.2	7.3	7.3	7.4	7.3
活	DO	mg/兆	8.8	9.9	10.0	12.0	10.2
環	BOD	mg/%	1.6	1.0	0.5未満	0.6	0.9
	SS	mg/%	9	1未満	1未満	1 未満	3
境	亜 鉛	mg/%	0.057	0.009	0.008	0.009	0.021
項	ノニルフェノール	mg/兆	0.0006未満	0.00006未満	0.0006未満	0.00006未満	0.00006未満
B	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/兆	0.0071	0.0027	0.0075	0.0038	0.0053
ВОІ	D 負荷量	g/s	0.31	0.26	0.06	0.05	0.17
項一	大腸菌群数	MPN/100ml	240000	330000	24000	17000	150000
目般	大腸菌数	MPN/100ml	1200	4300	430	170	1500

河川水質調査結果【生活環境・健康・要監視・一般項目調査地点】 (調査地点はP.81参照)

, J,	小貝胡鱼和未 【土冶垛块· 項 月	単位	安監院 · 一般 · B地点	新河岸川下流		AP.O I 参照/ <c類型></c類型>	平均値
	採水年月日	-	R03.06.25	R03.08.24	R03.12.07	R04.02.03	-
	天 候	<u> </u>	書	暑	量	睛	
		∞	24.1	31.0	15.8	11.0	
		°C	ļ				
	水温	°C	22.3	24.6	14.9	12.8	75.0
	透視度	cm	34.5	65.5	100以上	100以上	75.0
#	流量	m <sup>3</sup> /s	21.0	20.3	20.6	12.6	18.6
生	Hq	<u> </u>	7.3	7.2	7.1	7.1	7.2
活	DO	mg/兆	6.4	7.0	7.1	8.1	7.2
環	BOD	mg/ポ	1.6	0.9	1.8	1.7	1.5
境	SS	mg/狀	19	10	4	4	9
児	亜 鉛	mg/¦%	0.023	0.012	0.012	0.016	0.016
項	ノニルフェノール	mg/兆	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
目	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/兆	0.0031	0.0042	0.0072	0.0023	0.0042
項一	大腸菌群数	MPN/100ml	79000	220000	490000	130000	230000
目般	大腸菌数	MPN/100ml	3300	2900	1500	930	2200
ВО		g/s	33.60	18.27	37.08	21.42	27.59
健	カドミウム	mg/¦%	0.0003 未満		0.0003 未満	_	0.0003 未満
	全シアン	mg/¦%	O.1 未満	_	0.1 未満	_	O.1 未満
	鉛	mg/¦%	0.002	_	0.001 未満	_	0.002
	六価クロム	mg/ポ	0.005 未満	_	0.005 未満	_	0.005 未満
	- バ画フロム 	mg/狀	0.001 未満	_	0.001 未満	_	0.001 未満
	総水銀	<del>!</del>	0.0005 未満	_	0.0007 未満		0.0005 未満
		mg/況	0.0005 未満	_	0.0005 未満		0.0005 未満
	アルキル水銀	mg/狀		_	<b>-</b>	_	<b></b>
l	PCB	mg/k‰	0.0005 未満	_	0.0005 未満	_	0.0005 未満
康	ジクロロメタン	mg/ki	0.002 未満	_	0.002 未満		0.002 未満
	四塩化炭素	mg/ki	0.0002 未満	_	0.0002 未満	_	0.0002 未満
	1,2-ジクロロエタン	mg/ポ	0.0004 未満	— 	0.0004 未満	_	0.0004 未満
	1,1-ジクロロエチレン	mg/¦%	0.002 未満	— 	0.002 未満	<u> </u>	0.002 未満
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/¦%	0.004 未満	— 	0.004 未満	<u> </u>	0.004 未満
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/ki	0.0005 未満	_	0.0005 未満	-	0.0005 未満
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/ポ	0.0006 未満	—	0.0006 未満	_	0.0006 未満
	トリクロロエチレン	mg/狀	0.001 未満	_	0.001 未満	_	0.001 未満
	テトラクロロエチレン	mg/¦%	0.0005 未満	_	0.0005 未満	-	0.0005 未満
頂	1,3-ジクロロプロペン	mg/¦%	0.0002 未満	_	0.0002 未満	_	0.0002 未満
- , ,	チウラム	mg/%	0.0006 未満	_	0.0006 未満	_	0.0006 未満
	シマジン	mg/¦%	0.0003 未満	_	0.0003 未満	_	0.0003 未満
	チオベンカルブ	mg/k%	0.002 未満	_	0.002 未満	_	0.002 未満
	ベンゼン	mg/k%	0.001 未満	_	0.001 未満	_	0.001 未満
	セレン	mg/¦%	0.001 未満	_	0.001 未満	_	0.001 未満
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/¦%	3.0	_	6.4	_	4.7
	フッ素	mg/¦%	0.07	_	0.06	_	0.07
	ほう素	mg/¦%	0.04		0.03		0.04
B	1,4ージオキサン	mg/¦%	0.005 未満	_	0.005 未満	_	0.005 未満
要	クロロホルム	mg/¦%	0.006 未満	_	_	_	0.006 未満
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/狀	0.004 未満	_	_	_	0.004 未満
l	1,2-ジクロロプロパン	mg/¦%	0.006 未満		_	_	0.006 未満
l	p-ジクロロベンゼン	mg/狀	0.02 未満		_	_	0.02 未満
l	イソキサチオン	mg/狀	0.0008 未満	_	_		0.0008 未満
		mg/兆 mg/兆	0.0005 未満	_	_		0.0005 未満
es-	ダイアジノン フェニトロチオン	<del> </del>	0.0003 未満	_	_		0.0003 未満
監	フェニトロチオン	mg/況	0.0003 未満				0.0003 未満
	イソブロチオランオセミンの網	mg/況	·				·
	オキシン銅	mg/kil	0.004 未満	_	_	_	0.004 未満
	クロロタロニル	mg/ki	0.005 未満	_			0.005 未満
	プロピザミド	mg/ki	0.0008 未満	_			0.0008 未満
	EPN	mg/ポ	0.0006 未満	<u> </u>		_	0.0006 未満
視	ジクロルボス	mg/ポ	0.0008 未満	_		_	0.0008 未満
	フェノブカルブ	mg/¦%	0.003 未満	<u> </u>	_	_	0.003 未満
	イプロベンホス	mg/¦%	0.0008 未満	_	_	_	0.0008 未満
	クロルニトロフェン	mg/¦%	0.0001 未満	_	_	_	0.0001 未満
	トルエン	mg/%	0.06 未満	_	_	_	0.06 未満
	キシレン	mg/兆	0.04 未満	_	-	_	0.04 未満
	フタル酸ジエチルヘキシル	mg/%	0.006 未満	_			0.006 未満
項	ニッケル	mg/¦%	0.001	_			0.001
	モリブデン	mg/%	0.007 未満	_	-	-	0.007 未満
	アンチモン	mg/ki	0.002 未満	_	_	_	0.002 未満
	塩化ビニルモノマー	mg/¦%	0.0002 未満	_	_	_	0.0002 未満
	エピクロロヒドリン	mg/¦%	0.00004 未満	<u> </u>	_	_	0.00004 未満
l	全マンガン	mg/¦%	0.07	_	_	_	0.07
B	ウラン	mg/¦%	0.0002 未満	<u> </u>	_	_	0.0002 未満
			•				ŭ.

河川水質調査結果【生活環境・健康・要監視・一般項目調査地点】 (調査地点はP.81参照)

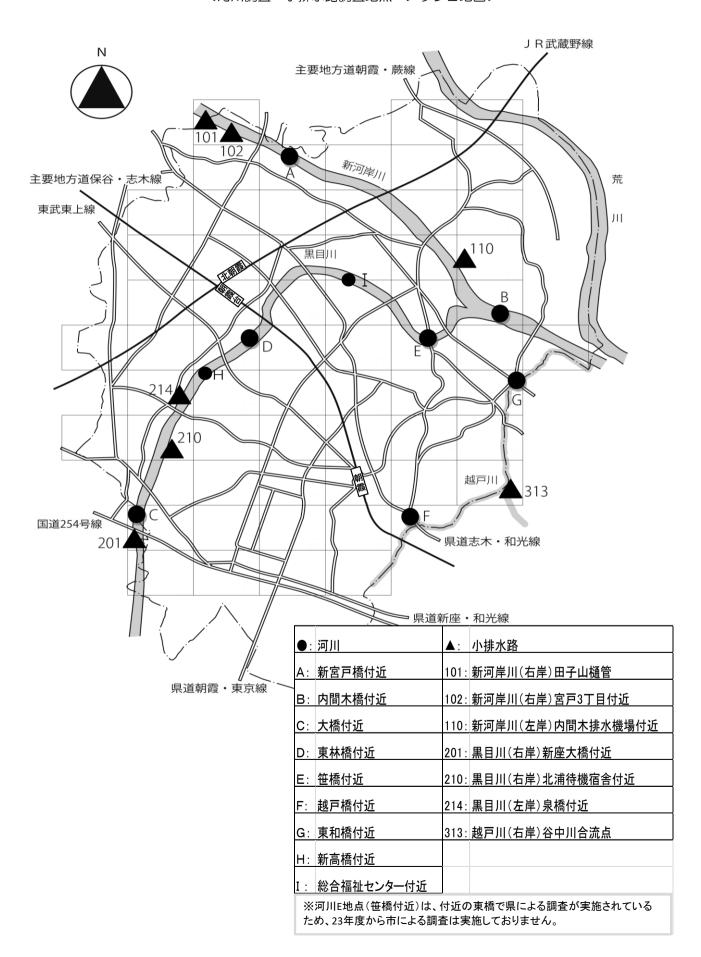
川県	水質調査結果【生活環境・					はP.81参照)	TT ⊬n l≠
	項 目 「短水在日口	単位	G地点 PO2 06 25	Ī	Ī	指定なし>	平均値
ļ	採水年月日	ļ <u> </u>	R03.06.25	R03.08.24	R03.12.07	R04.02.03	_
	天 候		曇	曇	曇	晴	_
	気 温	°C	25.0	29.3	15.9	2.5	_
	水温	℃	21.6	22.8	15.2	9.7	-
	透視度	cm	84.0	100以上	100以上	100以上	96
#		m <sup>3</sup> /s	0.129	0.196	0.229	0.128	0.171
生	Ha	_	7.3	7.7	7.4	7.1	7.4
活	DO	mg/兆	9.0	10.0	10.0	9.3	9.6
環	BOD	mg/兆	1.2	0.8	0.5 未満	1.0	0.9
境	SS	mg/ポ	3	1	1	2	2
	亜 鉛	mg/沉	0.020	0.005	0.007	0.009	0.010
項	ノニルフェノール	mg/兆	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
B	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/汎	0.0081	0.0067	0.0020	0.0031	0.0050
項一 目般	大腸菌群数	MPN/100ml	130000	110000	24000	7000	68000
	大腸菌数	MPN/100ml	5000	9000	2000	600	4200
	<ul><li>○負荷量</li><li>I</li></ul>	g/s	0.15	0.16	0.11	0.13	0.14
健	カドミウム	mg/汎	0.0003 未満	— 	0.0003 未満		0.0003 未流
	全シアン	mg/kk	0.1 未満	<u> </u>	O.1 未満	<u> </u>	0.1 未流
	<u></u>	mg/兆	0.001	_	0.001 未満	_	0.001
	六価クロム	mg/兆	0.005 未満	_	0.005 未満	_	0.005 未満
	砒素 	mg/ポ	0.001 未満	<u> </u>	0.001 未満	<u> </u>	0.001 未満
	総水銀	mg/汎	0.0005 未満	_	0.0005 未満	_	0.0005 未満
	アルキル水銀	mg/汎	0.0005 未満	<u> </u>	0.0005 未満	<u> </u>	0.0005 未満
	PCB	mg/汎	0.0005 未満	<u> </u>	0.0005 未満	<u> </u>	0.0005 未満
康	ジクロロメタン	mg/ポ	0.002 未満	<u> </u>	0.002 未満	<u> </u>	0.002 未満
1004	四塩化炭素	mg/沉	0.0002 未満	<u> </u>	0.0002 未満	<u> </u>	0.0002 未満
	1,2-ジクロロエタン	mg/汎	0.0004 未満	— 	0.0004 未満	— 	0.0004 未満
	1,1-ジクロロエチレン	mg/兆	0.002 未満		0.002 未満	— 	0.002 未満
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/汎	0.004 未満		0.004 未満	— 	0.004 未満
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/兆	0.0005 未満	<u> </u>	0.0005 未満	<u> </u>	0.0005 未満
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/兆	0.0006 未満	— 	0.0006 未満	— 	0.0006 未満
	トリクロロエチレン	mg/ポ	0.001 未満	— 	0.001 未満	— 	0.001 未満
	テトラクロロエチレン	mg/汎	0.0005 未満	— 	0.0005 未満	— 	0.0005 未満
項	1,3-ジクロロプロペン	mg/汎	0.0002 未満		0.0002 未満	— 	0.0002 未満
	チウラム	mg/汎	0.0006 未満	— 	0.0006 未満	— 	0.0006 未満
	シマジン	mg/汎	0.0003 未満	— 	0.0003 未満	— 	0.0003 未満
	チオベンカルブ	mg/汎	0.002 未満		0.002 未満	— 	0.002 未満
	ベンゼン	mg/汎	0.001 未満	— 	0.001 未満	— 	0.001 未満
	セレン	mg/ポ	0.001 未満	<u> </u>	0.001 未満	<u> </u>	0.001 未満
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/汎	2.8	— 	4.6	— 	3.7
	フッ素	mg/汎	0.02	— 	0.03	— 	0.03
	ほう素	mg/汎	0.02	_	0.02 未満	_	0.02
<u>=</u>	1,4ージオキサン	mg/汎	0.005 未満	_	0.005 未満	_	0.005 未満
要	クロロホルム	mg/汎	0.006 未満	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	0.006 未満
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/汎	0.004 未満	— 	— 	— 	0.004 未満
	1,2-ジクロロプロパン	mg/兆	0.006 未満	_	<u> </u>	_	0.006 未満
	p-ジクロロベンゼン	mg/汎	0.02 未満	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	0.02 未満
	イソキサチオン	mg/兆	0.0008 未満	_	_	_	0.0008 未満
	ダイアジノン	mg/kk	0.0005 未満	_	_	_	0.0005 未満
監	フェニトロチオン	mg/兆	0.0003 未満	_	_	_	0.0003 未満
	イソブロチオラン	mg/況	0.004 未満	_	_	_	0.004 未満
	オキシン銅	mg/兆	0.004 未満	_	_	_	0.004 未満
	クロロタロニル	mg/兆	0.005 未満	_	_	_	0.005 未満
	プロピザミド	mg/兆	0.0008 未満	_	_	_	0.0008 未満
	EPN	mg/汎	0.0006 未満	_	_	_	0.0006 未満
視	ジクロルボス	mg/兆	0.0008 未満	_	_	_	0.0008 未満
	フェノブカルブ	mg/兆	0.003 未満	_	_	_	0.003 未満
	イプロベンホス	mg/兆	0.0008 未満	_	_	_	0.0008 未満
	クロルニトロフェン	mg/兆	0.0001 未満	_	_	_	0.0001 未満
	トルエン	mg/汎	0.06 未満	_	_	_	0.06 未満
	キシレン	mg/汎	0.04 未満	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	0.04 未満
<b>ਾ</b> ਣ	フタル酸ジエチルヘキシル	mg/沉	0.006 未満	_	_	_	0.006 未満
項	ニッケル	mg/沉	0.001 未満	_	_	<u> </u>	0.001 未満
	モリブデン	mg/¼	0.007 未満	_	_	_	0.007 未満
	アンチモン	mg/¼	0.002 未満	_	_	_	0.002 未満
	塩化ビニルモノマー	mg/⅓	0.0002 未満	_ 			0.0002 未満
	エピクロロヒドリン	mg/沉	0.00004 未満	_	_	_	0.00004 未満
	今ついガン	mg/%	0.02 未満	_	_	_	0.02 未満
	ウラン		0.0002 未満				0.0002 未満

### 河川水質調査結果【追加項目調査地点】 (調査地点はP.81参照)

	項	B	単位	追加項目調査地点 黒目川上流	平均值	
採水年月日			-	R03.08.24	R03.12.07	-
天 候			_ <u>&amp;</u> <u>&amp;</u>		量	_
	気 温		°C	31.8	16.8	_
	水 温		°C	22.4	15.7	_
追目加	112字的酸系要水重(COD) img/%		mg/%	1.4	1.5	1.5
項	ふん便性大腸菌群数		CFU/100ml	3300	1700	2500

	項 目	単位	追加項目調査地点 黒目川上流(朝霞市	平均值	
	採水年月日	-	R03.08.24	R03.12.07	_
	天 候	-	虽	虽	_
	気 温		30.8	15.8	_
	水 温	°C	23.0	15.2	_
追目加	化学的酸素要求量(COD)	mg/¦%	1.4	2.6	2.0
項	ふん便性大腸菌群数	CFU/100ml	5200	1500	3350

### <河川調査・小排水路調査地点 メッシュ地図>



# (参考) 埼玉県公共用水域の水質測定結果【生活環境項目】

黒目川下流 (東橋付近)

(令和3年度)

	項目	単位	平均値
	На	_	7.7
	DO	mg/¦⊼	11.0
	BOD	mg/¦li	0.7
生	COD	mg/¦iĭ	2.1
生活環境項	SS	mg/¦iĭ	3
塓   <del> </del>	大腸菌群数	MPN/100ml	35,000
児   佰	全窒素	mg/¦li	4.6
	全リン	mg/¦ដ	0.048
	亜 鉛	mg/¦¦ử	0.008
	ノニルフェノール	mg/¦å	<0.0006
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/¦it	0.0016

<sup>※</sup>健康項目、要監視項目、一般項目は、まだ公表されていないため、未掲載。

### 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目)

水質汚濁に係る環境基準のうち、人の生活に関係する最も基本的な水質項目です。

### 昭和46年12月28日環境庁告示第59号

令和3年10月7日環境省告示第62号改正

			生活環境項目基準値						
類型	利用目的の 適 応 性	水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数			
АА	水道 1 級 自然環境保全 及びA以下 の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/狀 以下	25mg/トネ゙ 以下	7.5mg/狀 以上	20CFU/ 100ml以下			
А	水道 2 級 水産1級 水浴及びB以下 の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2 mg/狀 以下	25 mg/狀 以下	7.5 mg/狀 以上	300CFU / 100ml以下			
В	水道3級 水産2級及びC以下 の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3 mg/ヒ朮 以下	25 mg/kii 以下	5 mg/キボ 以上	1,00CFU / 100ml以下			
С	水産3級 工業用水1級 及びD以下 の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/狀 以下	50 mg/狀 以下	5 mg/狀 以上	_			
D	工業用水 2 級 農業用水及びE の欄に掲げるもの	6.0 以上 8.5 以下	8 mg/狀 以下	100 mg/ 以下	2 mg/ぱ 以上	_			
Е	工業用水 3 級環境保全	6.0 以上 8.5 以下	10mg/狀 以下	ごみ等の浮 遊が認めら れないこと	2 mg/狀 以上	_			

<sup>※</sup>新河岸川はC類型(平成25年3月26日埼玉県告示)、黒目川はC類型(平成15年3月28日 埼玉県告示)に指定され、越戸川は無指定である。

T= C	-1. # # # A	4		¥
項目	水生生物の	生	活環境項目基	準値
	生息状況の	全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼ
	適応性			ンスルホン酸
類型	2011			及びその塩
7.5.				及いての塩
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温	002m ~ /1	0.001m ~ /I	0.02m ~ /1
	域を好む水牛牛物及びこれら	0.03mg/L	0.001mg/L	0.03mg/L
	の餌生物が生息する水域	以下	以下	以下
##### A				
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの			
	欄に掲げる水生生物の産卵場	0.03mg/L	0.0006mg/L	0.02mg/L
	(繁殖場) 又は幼稚仔の生育場	以下	以下	以下
	として特に保全が必要な水域	->.1	22.1	2.,
4-15-5				
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好	0.03mg/L	0.002mg/L	0.05mg/L
	む水生生物及びこれらの餌生			
	物が生息する水域	以下	以下	以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のう			
工物科D				
	ち、生物Bの欄に掲げる水生生	0.03mg/L	0.002mg/L	0.04mg/L
	物の産卵場(繁殖場)又は幼稚	_		
	仔の生育場として特に保全が	以下	以下	以下
	必要な水域			

<sup>※</sup>新河岸川、黒目川は生物 B 類型 (平成20年12月16日埼玉県告示) に指定され、越戸川は無指定である。

### 人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)

人の健康の保護に関する環境基準で指定されている項目で、水質汚濁物質の中でも特に有害性の強いものです。

昭和46年12月28日環境庁告示第59号 令和3年10月7日環境省告示第62号改正

健康項目	基準値	健康項目	基準値	
カドミウム	O.003mg/狀以下	1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/沢以下	
全シアン	検出されないこと	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/狀以下	
鉛	0.01mg/沉以下	トリクロロエチレン	0.01 mg/	
六価クロム	0.02mg/沉以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/	
砒素	O.O1mg/	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/狀以下	
総水銀	0.0005mg/沉以下	チウラム	0.006mg/狀以下	
アルキル水銀	検出されないこと	シマジン	0.003mg/狀以下	
PCB	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02mg/狀以下	
ジクロロメタン	O.O2mg/狀以下	ベンゼン	O.O1 mg/	
四塩化炭素	0.002mg/沉以下	セレン	O.O1 mg/	
1,2-ジクロロエタン	O.OO4mg/常以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/狀以下	
1,1-ジクロロエチレン	O.1 mg/沉以下	ふっ素	O.8mg/常以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/狀以下	ほう素	1 mg/╎沢以下	
		1,4-ジオキサン	0.05mg/沉以下	

<sup>※</sup>基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

### 要監視項目及び指針値(要監視項目)

健康の保護に関連する物質ではあるものの検出状況等からみて、現時点では環境基準項目とはせず、引き続きデータの集積に努めるべきと判断されているものです。

平成5年3月8日環水管第21号 平成21年11月30日環水大水発第091130004号、環水大土発第091130005号

要監視項目	指 針 値	要監視項目	指針値
クロロホルム	0.06mg/  洗以下	フェノブカルブ	0.03mg/狀以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン	O.O4mg/	イプロベンホス	0.008mg/狀以下
1,2-ジクロロプロパン	0.06mg/  洗以下	クロルニトロフェン	_
pージクロロベンゼン	O.2mg/狀以下	トルエン	O.6mg/沢以下
イソキサチオン	0.008mg/沉以下	キシレン	O.4mg/沉以下
ダイアジノン	0.005mg/狀以下	フタル酸ジエチルヘキシル	0.06mg/
フェニトロチオン	0.003mg/狀以下	ニッケル	_
イソプロチオラン	O.O4mg/沉以下	モリブデン	0.07mg/
オキシン銅	O.O4mg/	アンチモン	O.O2mg/
クロロタロニル	0.05mg/沉以下	塩化ビニルモノマー	0.002mg/狀以下
プロピザミド	O.008mg/常以下	エピクロロヒドリン	0.0004mg/沉以下
EPN	0.006mg/常以下	全マンガン	O.2mg/常以下
ジクロルボス	0.008㎜/沉以下	ウラン	0.002mg/狀以下

### 水浴場水質判定基準(追加項目)

水浴場は、人と水が触れあう場として最も親しまれている水環境の一つであり、地域の個性を形作っているとともに自然の水環境の一部を構成する重要な水辺でもあります。評価項目は、環境 基準健康項目が達成されていることを前提として、4項目(化学的酸素要求量、ふん便性大腸菌群数など)を評価することとしています。

引用元:環境省

	区分	化学的酸素要求量	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	透明度
適	水質AA	2mg/L以下	mg/L以下 不検出 (検出限界2個/100ml)		全透 (または1m以上)
旭	水質A	2mg/L以下	100個/100ml以下	油膜が認められない	全透 (または1m以上)
可	水質B	5mg/L以下	400個/100ml以下	常時は油膜が 認められない	1m未満~ 50cm以上
<u> </u>	水質C	8mg/L以下	1,000個/100ml以下	常時は油膜が 認められない	1m未満~ 50cm以上
	不適	8mg/L超	1,000個/100ml を超えるもの	常時油膜が 認められる	50cm未満

<sup>※</sup>市内の河川は水浴場として指定されていません。

# 河川調査の結果(補足)

### 〇黒目川(中流)東林橋付近の水素イオン濃度(pH)について

6月の調査で、pHがアルカリ性を示し環境基準を超過しました。その原因は、調査 地点周辺に水生植物が繁茂しており、調査時にその光合成が活発に行われたことが原 因と考えられます。また、市では水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD) 及び溶存酸素(DO)について、毎月パックテストによる簡易水質調査を行っています。

### ○越戸川の(上流)越戸橋付近の全亜鉛について

6月の調査で、環境基準を超過しました。その原因は、採水前に激しい降雨があり、 土壌の混入や川底の土が舞い上がって濁ったことにより、採水した河川水に土壌が普 段よりも多く含まれたことが原因と考えられます。なお、同日降雨前に採水した越戸 川(下流)の東和橋付近では基準以下の値でした。

### ○黒目川のふん便性大腸菌群数について

黒目川をはじめ市内の河川に水浴場はありません。一方、黒目川は水に親しむ人も多いことから、水浴場水質判定基準を参考にした水質調査を行っています。令和3年度の調査結果が「不適」となったことから、これを踏まえ、水に親しむ機会の増える小中学校の夏休み開始に合わせ、令和4年7月にSNSで、「川はプールのように消毒をしていない」、「水遊びの際はできるだけ目や口に水が入らないようにする」及び「水遊びの後は手洗い等をする」の情報発信を行いました。

# (2) 小排水路水質調査結果 (調査地点はP.81参照)

	項目	単位	No.101 新河岸川	田子山樋管(右岸)	平均值
	採水年月日	_	R03.08.24	R04.02.03	_
	天 候	—	晴	晴	—
	気 温	$^{\circ}$	29.0	3.2	—
<u> </u>	水温	$^{\circ}$	23.8	13.9	_
	透視度	cm	100以上	100以上	100以上
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.024	0.009	0.017
生	рН	—	7.3	7.1	7.2
活	DO	mg/l	6.9	7.9	7.4
環	BOD	mg/l	140.0	3.4	71.7
境	SS	mg/l	3	1	2
	全亜鉛	mg/l	0.250	0.023	0.137
項	ノニルフェノール	mg/l	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩		0.022	0.051	0.037
	BOD負荷量	g/s	3.360	0.031	1.696

				-	
	項目	単位	No.102 新河岸川 宮戸	平均值	
	採水年月日	_	R03.08.24	R04.02.03	_
	天 候	—	晴	晴	—
	気 温	$^{\circ}$	30,9	3.1	—
	水温	$^{\circ}$	24.9	10.0	_
	透視度	cm	100以上	100以上	100以上
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.001	0.001	0.001
生	На	_	7.8	7.6	7.7
活	DO	mg/l	6.8	7.8	7.3
環	BOD	mg/l	1.9	3.8	2.9
境	SS	mg/l	1	1未満	1
	全亜鉛	mg/l	0.019	0.012	0.016
項	ノニルフェノール	mg/l	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/l	0.013	0.028	0.021
	BOD負荷量	g/s	0.002	0.004	0.003

	項目	単位	No.110 新河岸川 内間	<b>引木排水機場付近(左岸)</b>	平均值
	採水年月日	_	R03.08.24	R04.02.03	_
	天候	—	曇	晴	—
	気 温	$^{\circ}$	29.9	7.2	—
	水温	$^{\circ}$	25.5	10.9	_
	透視度	cm	49.3	31.2	40.3
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.012	0.007	0.010
生	На	_	9.6	7.1	8.4
活	DO	mg/l	5.6	6.1	5.9
環	BOD	mg/l	11.0	37.0	24.0
	SS	mg/l	36	13	25
境	全亜鉛	mg/l	0.007	0.017	0.012
項	ノニルフェノール	mg/l	0.00006未満	0.00017	0.00012
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/l	0.220	0.490	0.355
	BOD負荷量	g/s	0.132	0.259	0.196

	項目	単位	No.201 黒目川 業	所座大橋付近(左岸)	平均值
	採水年月日	—	R03,08,24	R04.02.03	_
	天 候	—	曇	晴	—
	気 温	$^{\circ}$	31,2	10.5	—
	水温	$^{\circ}$	24.0	9.4	—
	透視度	cm	42,5	100以上	71.3
	流  量	m <sup>3</sup> /s	0.001	0.001	0.001
生	Hq	—	7.6	7.5	7.6
活	DO	mg/l	7.4	10.0	8.7
環	BOD	mg/l	17.0	12.0	14.5
	SS	mg/l	3	1未満	2
境	全亜鉛	mg/l	0.097	0.080	0.089
項	ノニルフェノール	mg/l	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩		0.3000	0.059	0.180
	BOD負荷量	g/s	0.017	0.012	0.015

# 小排水路水質調査結果 (調査地点はP.81参照)

	項目	単位	No.210 黒目川 北涼	輔待機宿舎付近 (右岸)	平均值
	採水年月日	_	R03.08.24	R04.02.03	_
	天 候	—	曇	晴	—
	気 温	$^{\circ}$	31.5	10.9	_
	水温	$^{\circ}$	20.9	13.5	_
	透視度		100以上	100以上	100以上
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.005	0.001	0.003
生	На	—	7.9	7.6	7.8
活	DO	mg/l	8.0	7.9	8.0
環	BOD	mg/l	3.2	3.7	3.5
	SS	mg/l	1未満	1未満	1未満
境	全亜鉛	mg/l	0.006	0.007	0.007
項	ノニルフェノール	mg/l	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
Ħ	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/l	0.1200	0.062	0.091
	BOD負荷量	g/s	0.016	0.004	0.010

	項目	単位	No.214 黒目川	泉橋付近(左岸)	平均值
	採水年月日	_	R03.08.24	R04.02.03	_
	天 候	—	曇	晴	—
	気 温	$^{\circ}$	32.0	12.0	—
	水温	$^{\circ}$	24.9	9.8	—
	透視度	cm	70.6	40.0	55.3
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.001未満	0.001未満	0.001未満
生	рН	_	7.4	7.3	7.4
活	DO	mg/l	5.0	5.4	5.2
環	BOD	mg/l	9.7	27.0	18.4
	SS	mg/l	2	4	3
境	全亜鉛	mg/l	0.027	0.034	0.031
項	ノニルフェノール	mg/l	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/l	0.370	1.000	0.685
	BOD負荷量	g/s	0.010	0.027	0.019

項目 単位			No.313 越戸川 名	3中川合流点(右岸)	平均值
	採水年月日	_	R03.08.24	R04.02.03	_
	天 候	—	曇	晴	—
	気 温	$^{\circ}$	31.0	8.9	—
	水温	$^{\circ}$	24.0	7.8	—
	透視度	cm	100以上	100以上	100以上
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.055	0.074	0.065
生	рH	_	8.9	9.0	9.0
活	DO	mg/l	9.8	14.0	11.9
環	BOD	mg/l	1.2	2.5	1.9
	SS	mg/l	1未満	1未満	1未満
境	全亜鉛	mg/l	0.009	0.005	0.007
項	ノニルフェノール	mg/l	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	mg/l	0.020	0.033	0.027
	BOD負荷量	g/s	0.066	0.185	0.126

# 3 地下水関係

### 地下水概況調査結果【井戸水・湧水】

項目	ļ	地下水1	地下水2	地下水3	地下水4	地下水5
地点番号	_	12	13	22	24	26
採水年月日	年月日	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17
天 候	_	晴	晴	晴	晴	晴
トリクロロエチレン	mg/l	0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	=	-	-	-	-
シスー1,2ージクロロエチレン	mg/l	-	-	-	-	-
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	I	-	-	-	-
項目	単位	地下水6	地下水7	地下水8	地下水9	地下水10
地点番号	_	30	32	37	40	41
採水年月日	年月日	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17
天 候	_	晴	晴	晴	晴	晴
トリクロロエチレン	mg/l	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	-	_	-	-	-
シスー1,2ージクロロエチレン	mg/l	-	-	-	-	-
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	I	-	-	-	-
項目	単位	地下水11	地下水12	地下水13	不動の滝(湧水)	総検体数
地点番号	_	44	51	64	2	-
採水年月日	年月日	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17	R03.11.17	-
天 候	_	晴	晴	晴	晴	-
トリクロロエチレン	mg/l	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	14
テトラクロロエチレン	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0110	0.0005未満	14
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	14
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	-	_	0.002未満	-	1
シスー1,2ージクロロエチレン	mg/l	-	-	0.006	-	1
トランスー1,2ージ <i>ウ</i> ロロエチレン	mg/l	-	-	0.004未満	_	1
項目		基準超過数	超過率	検出数	検出率	基準値
トリクロロエチレン		0	0.0%	1	7.1%	0.01mg/l以下
テトラクロロエチレン		1	7.1%	1	7.1%	0.01mg/l以下
1,1,1-トリクロロエタン		0	0.0%	0	0.0%	1 mg/l以下
1,1-ジクロロエチレン		0	0.0%	0	0.0%	0.1mg/l以下
シスー1,2ージクロロエチレン		0	0.0%	1	100,0%	0.04mg/l以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン		0	0.0%	0	0.0%	0.04mg/l以下

# 4 魚類関係

魚類調査結果(調査日:令和3年7月27日~28日) (単位:匹)

		調	査 地	点	
	種 名	新河岸川	黒目川	越戸川	生活型
		下流	中流	下流	
ウナギ科	ニホンウナギ	1			降河性回遊魚
	コイ	2			純淡水魚
	ギンブナ	1			純淡水魚
	オイカワ	1	10	3	純淡水魚
コイ科	カワムツ		1		純淡水魚
	アブラハヤ		1	1	純淡水魚
	ウグイ			2	遡河回遊•淡水
	モツゴ	6	2	5	純淡水魚
ドジョウ科	ヒガシシマドジョウ		2		純淡水魚
アユ科	アユ		12	1	両側回遊魚
ボラ科	ボラ		1		汽水•海水魚
カダヤシ科	カダヤシ	3			純淡水魚
	マハゼ	8		1	汽水•海水魚
ハゼ科	ヌマチチブ	91	59	129	両側回遊魚
	ウキゴリ	2	13	20	両側回遊魚
ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	1	7	3	
- <del> </del>	テナガエビ	34		1	
テナガエビ科	スジエビ	68	47	2	
アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ			1	
モクズガニ科	ー モクズガニ	1	2	3	
アカガエル科	ウシガエル(幼生)	1	20		
ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	1			

### 【調査地点の河川の特徴及び出現種との関係】

### 【新河岸川下流(内間木橋付近)】

調査地点は、両岸はコンクリートで護岸されているが、河床は泥や礫で自然の状態になっている。水深は漁具設置場所が1.5m前後で比較的深い。流量は比較的多く、干満の影響を受けて変化する。両岸の植生は、一部では水面を覆うように繁茂するものもあり、小型の魚類の隠れ家を提供している。

魚類は、ニホンウナギ、コイ、ギンブナ、オイカワ、モツゴ、カダヤシ、マハゼ、ヌマチチブ、ウキゴリが確認された。甲殻類は、カワリヌマエビ属、テナガエビ、スジエビ、モクズガニが確認された。両生類は、ウシガエル(幼生)が、爬虫類はミシシッピアカミミガメが確認された。

水質は、C 類型と生物 B 類型の基準を満たしており、魚類が問題なく生息できる環境であった。

### 【黒月川中流(東林橋付近)】

両岸の一部は護岸されているが、河床は礫・砂・石で自然の状態になっている。水深の深い場所(淵)、砂礫が堆積して浅くなっている場所(瀬)等の変化に富んでおり、左岸側の河川敷にはワンドを形成している。流量は安定している。両岸の植生は一部で水面を覆うように繁茂し、河床にオオカナダモ等の沈水植物が多く見られ、これらの植物は小型魚類の隠れ家を提供している。

無類は、オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、モツゴ、ヒガシシマドジョウ、アユ、ボラ、ヌマチチブ、ウキゴリが確認された。甲殻類は、カワリヌマエビ属、スジエビ、モクズガニが確認された。両生類はウシガエル(幼生)が確認された。今年度もアユが確認された。参考までに、アユの生息環境の水質条件を下記の表に整理した。

水質は、C 類型と生物B類型の基準を満たしており、魚類が問題なく生息できる環境であった。

区分	出現水温·生息水温	流動•底質	食性
卵 期	10℃~20℃ 23℃以上危険	_	_
稚仔魚期		人工採苗地の溶存酸素量 4.3mg/I で一部の仔魚死亡、 2.9mg/Iで大部分死亡	降海後主にケンミジンコ類、オタマボヤ、 葉脚類、端脚類、イカ、2枚貝幼生、デトリタス
未成魚	9°C∼18°C	流速2m/sec 流速3m/sec 溯上不可能	付着藻類(特に藍藻を好む)
成魚	-	すみつき期:石・岩盤	動物プランクトン 付着藻類

表 アユの生息条件

### 【越戸川下流(東和橋付近)】

調査地点は、両岸は護岸されているものの、水辺に石等が配置され、河床は砂、礫等で 自然の状態になっている。水深は浅く、流量は安定している。また、河川が蛇行している ため、水深の深い場所(淵)、砂礫が堆積して浅くなっている場所(瀬)等の変化に富ん でいる。両岸の植生は、水面を覆うように繁茂し、河床にはオオカナダモ等の沈水植物が 多くみられる。これらの植物は小型魚類の隠れ家を提供している。

魚類は、オイカワ、アブラハヤ、ウグイ、モツゴ、マハゼ、ヌマチチブ、ウキゴリが確認された。甲殻類は、カワリヌマエビ属、テナガエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、モクズガニが確認された。

水質は、C 類型と生物B類型の基準を満たしており、魚類が問題なく生息できる環境であった。

### 【参考】朝霞市黒目川に親しむ会より情報提供

※黒目川に親しむ会:黒目川の改修工事をきっかけに、黒目川を安全で誰もが親しめる川にしようと生まれた会

# 黒目川中流における水生生物採捕結果(調査期間:5月~9月)

目名	科名		種名
ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	
		コイ	ウグイ
		ギンブナ	モツゴ
		オイカワ	タモロコ
コイ目	コイ科	アブラハヤ	カマツカ
		マルタ	ニゴイ
		カワムツ	スゴモロコ
	ドジョウ科	ドジョウ	シマドジョウ
ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	
サケ目	アユ科	アユ	
ダツ目	メダカ科	メダカ	
	スズキ科	スズキ	
	ボラ科	ボラ	
スズキ目		スミウキゴリ	ウキゴリ
	ハゼ科	マハゼ	クロダハゼ(トウヨシノボリ)
		ヌマチチブ	
	モクズガニ科	モクズガニ	
エビ目	テナガエビ科	テナガエビ	スジエビ
	ヌマエビ科	ヌマエビ	
	イシガメ科	クサガメ	
カメ目	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	
	スッポン科	スッポン	
無尾目	ヒキガエル科	ヒキガエル	
m/-50	アマガエル科	ウシガエル	
	カワトンボ科	ハグロトンボ	
トンボ目	ヤンマ科	(ヤゴ) ギンヤンマ	
	サナエトンボ科	コオニヤンマ	

# 5 放射線測定結果

#### 空間放射線測定 5-1

※除染の判断基準は「朝霞市における放射線量基準に関する当面の考え方について」の毎 時0.19マイクロシーベルトとしている。

※測定値は、それぞれの高さにおける10秒毎の指示値を5回記録した平均値としています。 ※測定場所の高さは、「放射線測定に関するガイドライン(文部科学省)」(1 m)及び「学校等における放射線測定の手引き(文部科学省)」(50 c m)を基準としています。

### (1) 市役所敷地内

(単位:マイクロシーベルト/時)

地上1m 週1回(午前10時) 測定

測定場所	測定年度	最大値	平均值
	令和3年度	0.085	0.060
<b>本</b> 勿形 正帝太明晚	令和2年度	0.073	0.060
市役所 正面玄関脇・バス停	令和元年度	0.074	0.063
・ハヘビ	平成30年度	0.080	0.063
	平成29年度	0.090	0.065

### (2) 小学校

校庭中央 3か月に1回測定

学校名	最大値		平力	匀值
子 仅 石	地表付近	地上50 c m	地表付近	地上50cm
朝霞第一小学校	0.053	0.058	0.050	0.051
朝霞第二小学校	0.053	0.045	0.045	0.044
朝霞第三小学校	0.062	0.053	0.056	0.052
朝霞第四小学校	0.089	0.080	0.080	0.075
朝霞第五小学校	0.039	0.038	0.035	0.033
朝霞第六小学校	0.064	0.056	0.057	0.054
朝霞第七小学校	0.064	0.063	0.059	0.062
朝霞第八小学校	0.061	0.063	0.054	0.054
朝霞第九小学校	0.066	0.062	0.062	0.057
朝霞第十小学校	0.057	0.049	0.054	0.049

### (3)中学校

校庭中央 3か月に1回測定

1202 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3							
学校名	最大値		平均値				
子仪石	地表付近	地上1m	地表付近	地上1m			
朝霞第一中学校	0.086	0.076	0.084	0.074			
朝霞第二中学校	0.050	0.053	0.048	0.050			
朝霞第三中学校	0.058	0.057	0.056	0.052			
朝霞第四中学校	0.072	0.068	0.067	0.063			
朝霞第五中学校	0.054	0.051	0.048	0.047			

# (4)保育園等

園庭中央 年4回測定

图	最	大値	平均值		
保育園名	地表付近	地上50 c m	地表付近	地上50cm	
浜崎保育園	0.055	0.047	0.047	0.044	
東朝霞保育園	0.069	0.064	0.055	0.048	
溝沼保育園	0.058	0.059	0.053	0.055	
本町保育園	0.053	0.057	0.047	0.054	
根岸台保育園	0.048	0.055	0.047	0.047	
北朝霞保育園(本園)	0.061	0.058	0.058	0.053	
北朝霞保育園(分園)	0.077	0.067	0.073	0.063	
栄町保育園	0.056	0.053	0.052	0.051	
泉水保育園	0.064	0.058	0.056	0.053	
さくら保育園	0.051	0.055	0.046	0.042	
宮戸保育園	0.079	0.075	0.056	0.056	
仲町保育園	0.066	0.072	0.062	0.067	
大山保育園	0.086	0.075	0.067	0.058	
あさかたんぽぽ(本園)	0.087	0.080	0.084	0.073	
あさかたんぽぽ(分園)	0.109	0.112	0.103	0.097	
さわらび保育園	0.076	0.082	0.072	0.065	
太陽と大地のこども保育園	0.073	0.064	0.063	0.057	
ゆりかご保育園	0.087	0.088	0.080	0.073	
いずみばし保育園	0.058	0.054	0.048	0.047	
ひまわり保育園	0.058	0.061	0.056	0.057	
ひだまり保育園	0.080	0.068	0.070	0.064	
第二たんぽぽ保育園	0.074	0.070	0.067	0.066	
あさしがおかアンジュ保育園	0.064	0.060	0.049	0.050	
おれんじベビー	0.064	0.057	0.062	0.054	
白百合園	0.054	0.048	0.052	0.044	
しらとり保育室	0.080	0.069	0.069	0.066	
フェリーチェ朝霞園	0.081	0.081	0.069	0.069	
ひざおりしらとり保育室	0.080	0.071	0.072	0.068	
障害児放課後児童クラブ	0.077	0.078	0.073	0.072	

# (5) 幼稚園

園庭中央 年4回測定

幼稚園名	最大値		平均値		
少性图台	地表付近	地上50cm	地表付近	地上50cm	
朝霞幼稚園	0.053	0.049	0.048	0.047	
菩提樹の森幼稚園	0.066	0.067	0.056	0.058	
さいか幼稚園	0.104	0.089	0.082	0.076	
あさか台幼稚園	0.060	0.057	0.051	0.052	
たちばな幼稚園	0.075	0.082	0.056	0.058	

# (6) 児童遊園地 • 都市公園

# 中央 年4回測定

児童遊園地	最为	大値	平均値	
汽车避風地	地表付近	地上50cm	地表付近	地上50 c m
緑ヶ丘北児童遊園地	0.075	0.073	0.071	0.069
岡向山児童遊園地	0.059	0.054	0.052	0.050
膝折町1丁目児童遊園地	0.067	0.067	0.063	0.062
霞ヶ丘児童遊園地	0.068	0.069	0.059	0.067
新高橋ふれあい広場	0.075	0.064	0.068	0.057
上の原公園	0.058	0.060	0.053	0.051
水久保公園	0.070	0.056	0.051	0.044
やつじ公園	0.061	0.059	0.067	0.069
上野荒川運動公園	0.066	0.064	0.061	0.060
宮戸ハケタ公園	0.077	0.063	0.070	0.058

○宮戸を住みよくする会提供資料より

<u>し出)とはののでする公庭代質科のり</u>					
放射線測定値(砂場)	最大値		平均値		
以勃脉则是但(野场)	地表付近	地上50cm	地表付近	地上50cm	
宮戸大山公園	0.052	0.048	0.048	0.045	
やつじ公園	0.056	0.051	0.052	0.049	
宮戸立出児童遊園地	0.053	0.051	0.049	0.048	
宮戸第2児童遊園地	0.054	0.053	0.048	0.049	
宮戸児童遊園地	0.048	0.047	0.045	0.042	

※宮戸を住みよくする会では、原則毎月11日に宮戸町内の公園10カ所の砂場・滑り台など29地点の放射線測定を自主的に実施しております。このうち、代表的な放射線測定値を掲載します。

# (7)市内除染箇所測定 (ホットスポット) 年1回 42施設 87箇所

封	<b>教育施設</b>			
施設名	測定場所 (地表付近)	除染前	除染後 (平成23年12 月)	令和3年度
	南校舎・理科室前	0.585	0.155	0.074
	南校舎・排水□南側1	1.238	0.136	0.092
第1小学校	南校舎・排水□南側2	0.380	0.168	0.087
	北校舎裏・物置小屋排水□1	0.548	0.156	0.076
	北校舎裏・物置小屋排水口2	0.371	0.144	0.067
	体育館横・排水口(土)	0.447	0.159	0.052
第2小学校	校舎裏・ふた付側溝内	0.557	0.174	0.063
おとかず以	南校舎横・排水口	0.194	0.102	0.066
	校舎間スペース	0.629	0.168	0.084
	校舎横・側溝内	0.384	0.144	0.080
第3小学校	昇降□・横	0.204	0.087	0.081
あり小子収	北校舎東・側溝奥	0.768	0.094	0.052
	北校舎西・側溝奥	0.919	0.118	0.056
第4小学校	鉄棒下	0.218	0.169	0.086
第5小学校	正門(右)	0.284	0.097	0.072
あり小子仪	正門 (左)	0.308	0.078	0.062
第6小学校	北玄関・吹き溜まり	0.427	0.092	0.079
	プール更衣室・排水口北	0.261	0.116	0.065
	プール更衣室・排水口南	0.466	0.163	0.073
第7小学校	体育館通路•南	0.331	0.158	0.065
	体育館通路•北	1.056	0.160	0.060
	東門	0.194	0.096	0.051
第8小学校	校舎北側・給食搬入口側溝	0.351	0.109	0.048
	正門横・倉庫雨槌排水口(南)	0.537	0.151	0.064
	正門横・倉庫雨樋排水口(北)	1,258	0.119	0.088
第9小学校	体育倉庫·雨樋排水口(南)	0.365	0.169	0.073
	体育倉庫・雨樋排水口(北)	1.117	0.168	0.082
	防災倉庫雨樋下	0.332	0.101	0.069
第10小学校	給食配膳室入口・駐車場	0.484	0.099	0.065
	中庭•排水口	0.190	0.172	0.041
ee a a⊥sv :+	裏門・入口1	0,203	0.106	0.068
第1中学校	裏門・入□2	0.241	0.129	0.062
	正門吹き溜まり	0.201	0.097	0.055
	生徒玄関前•雨樋排水口	0.198	0.155	0.070
第2中学校	北側校舎裏・排水口	0.482	0.158	0.048
	新校舎・排水□	0.929	0.161	0.092
第3中学校	体育館・側溝内	0.728	0.118	0.068
おり中子仪	側溝・ふたの上	0.525	0.120	0.070
第 4 由学校	校舎裏・駐車場	0.213	0.083	0.060
第4中学校	校舎裏・側溝	0.394	0.169	0.055
笠を 中学 ***	体育館北側横•排水口	0.194	0.132	0.054
第5中学校	体育館通路	0.204	0.068	0.039

公園•	道路施設等			
施設名	測定場所 (地表付近)	除染前	除染後 (平成23年12 月)	令和3年度
ま無ハハ田	管理事務所北側雨樋下1	0.534	0.154	0.104
青葉台公園	管理事務所北側雨樋下2	0.450	0.099	0.119
	屋根付き休憩所雨樋下	0.226	0.142	0.064
朝霞中央公園	野球場南西トイレ雨樋下1	0.220	0.130	0.076
	野球場南西トイレ雨樋下2	0.239	0.128	0.087
	競技場北側トイレ雨樋下	0.280	0.169	0.075
あけぼの公園	トイレ雨樋下(北)	0.274	0.076	0.054
<i>8</i> 分171は07五国	トイレ雨樋下(南)	0.278	0.068	0.057
越戸公園	トイレ雨樋下	0.225	0.092	0.068
城山公園	トイレ雨樋下	0.201	0.144	0.080
新高橋ふれあい広場	トイレ脇	0.236	0.161	0.078
西久保公園	トイレ脇	0.195	0.131	0.056
宮戸児童遊園地	防災倉庫雨樋下	0.200	0.180	0.060
宮戸ハケタ公園	雨水落下地点	0.352	0.115	0.068
朝志ヶ丘地内地下通路	口	0.196	0.094	0.048
内間木排水機場	雨樋ポンプ下	0.204	0.139	0.080
内間木橋		0.237	0.098	0.060
越戸隧道	歩道・南側	0.276	0.153	0.058
市道4号線	膝折町3-3番地先	0.240	0.176	0.047
市道773号線	滝の根公園付近	0.299	0.155	0.053
市道2003号線	浜崎4-12番地先	0.354	0.067	0.045
	北側歩道1	0.838	0.141	0.081
原畑隧道	北側歩道2	0.360	0.146	0.062
小仙陵色	南側歩道1	0.294	0.139	0.069
	南側歩道2	0.968	0.140	0.068
消防団第三分団	雨樋(桝)	0.264	0.174	0.072
消防団第八分団	雨樋(桝)	0.202	0.146	0.073
防災倉庫(第2小学校)	雨樋(桝)	0.333	0.186	0.085
水防倉庫	雨樋(桝)	0.218	0.185	0.073
朝志ヶ丘市民センター	植栽	0.282	0.162	0.069
根岸台市民センター	避難用すべり台	0.232	0.166	0.080
	雨樋1	0.212	0.096	0.048
浜崎農業交流センター	雨樋2	0.619	0.091	0.076
	雨樋3	0.817	0.164	0.066
根岸台放課 後児童クラ	雨樋(桝)1	0.328	0.154	0.050
ブ (第9小学	雨樋(桝)2	0.509	0.099	0.088
校)	雨樋(桝)3	0.284	0.090	0.094
浜崎学校給食センター	自転車置場・雨樋付近	0.253	0.171	0.089
	雨樋1	0.406	0.173	0.065
+0= . ~ .	雨樋2	0.578	0.143	0.062
朝霞市障害 者ふれあい	雨樋3	0.266	0.178	0.074
センター あさか福祉	雨樋4	0.688	0.162	0.051
作業所	雨樋5	0.242	0.115	0.068
	雨樋6	0.273	0.172	0.064
	雨樋7	0.389	0.158	0.039

# 5-2 放射性物質測定

# (1) 学校給食食材

※学校給食1食分を毎喫食前に測定

※個別食材1品目を毎喫食前に測定。(可能日のみ実施)

(単位:ベクレル/kg)

測定日	施設名	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 ヨウ素131
令和4年3月18日	学校給食センター (小・中学校) 第四小学校 第五小学校	不検出 (10未満)	不検出 (10未満)	不検出 (25未満)

(単位:ベクレル/kg)

測定日	食材名	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 ヨウ素131
令和4年3月18日	にんじん・	不検出 (10未満)	不検出 (10未満)	不検出 (25未満)

### (2) 保育園給食食材

※市内保育園(民間認可保育園を含む)で輪番制とし、その日提供する主な給食食材を喫食前に測定 ※米、牛乳は事前検査 (単位:ベクレル/kg)

測定日	保育園名	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 ヨウ素131
令和4年 3月1日~4日、 3月7日~11日、 3月14日~25日 3月22日~31日	東根常常のでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	不検出(10未満)	不検出(10未満)	不検出(25未満)

### (3) 水道水

※年4回(6月、9月、12月、3月)に測定

(単位:ベクレル/kg)

測定日	採水場所	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 ヨウ素131
令和3年6月21日 令和3年9月9日 令和3年12月13日 令和4年3月10日	泉水浄水場 岡浄水場	不検出 (1.O未満)	不検出 (1.O未満)	不検出 (1.〇未満)

### (4) 焼却灰

- ※焼却灰とは、燃やしたごみの燃えがらで、焼却炉の底から排出される灰
- ※飛灰とは、ろ過式集じん機などで捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- ※放射性ヨウ素の測定については、平成24年4月から国のガイドラインで調査義務の免除を 受けた施設となったため除外している。

(単位:ベクレル/kg)

測定日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 ヨウ素131
<b>△</b> 50.4.77.0.□0.□	焼却灰	不検出	不検出	_
令和4年3月2日	飛灰	不検出	26	

### (5) 市内産農産物

- ※市内で採れる野菜等の農産物を年数回測定
- ※このほか、埼玉県において、朝霞市産の野菜及び米の検査を実施し、いずれも不検出

(単位:ベクレル/kg)

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 ヨウ素131
令和3年6月3日	ジャガイモ	不検出 (10未満)	不検出 (10未満)	不検出 (25未満)
令和3年10月17日	サツマイモ	不検出 (10未満)	不検出 (10未満)	不検出 (25未満)
令和4年2月2日	長ネギ	不検出 (10未満)	不検出 (10未満)	不検出 (25未満)

### (6) そのほかの放射性物質測定

上記のほか、夏季には各学校のプール底に溜まった汚泥の直近における放射線測定を実施し、市の基準値(0.19マイクロシーベルト/時)の範囲内であった。また、各学校のプールにおいて、プールの水の放射性物質測定を実施し、いずれも不検出であった。